

おしえて！りそにゃ。



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

みんなはどんな運用をしているの？

りそな銀行で確定拠出年金に加入されている皆さまの運用商品の保有状況などをまとめた結果の一部をご紹介します。昨年と比べ、違いは見られるでしょうか。みんなはどのような運用をしているのでしょうか。運用状況をご自身と比べてみましょう。



運用商品の保有比率と平均利回り

企業型

■ 2018/9月末

投資信託等
47.1%

定期預金	45.6%
保険商品	7.3%
資産分散	17.5%
日本債券	3.9%
日本株式	12.1%
外国債券	3.3%
外国株式	9.3%
J-REIT	0.9%
外国REIT	0.1%
その他	0.1%

■ 2019/9月末

投資信託等
46.3%

定期預金	46.3%
保険商品	7.2%
資産分散	17.2%
日本債券	4.3%
日本株式	10.6%
外国債券	3.4%
外国株式	9.2%
J-REIT	1.5%
外国REIT	0.1%
未指図	0.2%

〈平均利回り〉

直近1年	初回入金来
-0.32%	1.68%

個人型

■ 2018/9月末

投資信託等
22.2%

定期預金	74.1%
資産分散	7.3%
日本債券	1.6%
日本株式	5.7%
外国債券	1.3%
外国株式	5.1%
J-REIT	0.7%
外国REIT	0.5%
未指図	3.7%

■ 2019/9月末

投資信託等
27.4%

定期預金	67.1%
資産分散	12.0%
日本債券	1.9%
日本株式	4.8%
外国債券	1.4%
外国株式	5.1%
J-REIT	1.4%
外国REIT	0.7%
その他	0.1%
未指図	5.5%

〈平均利回り〉

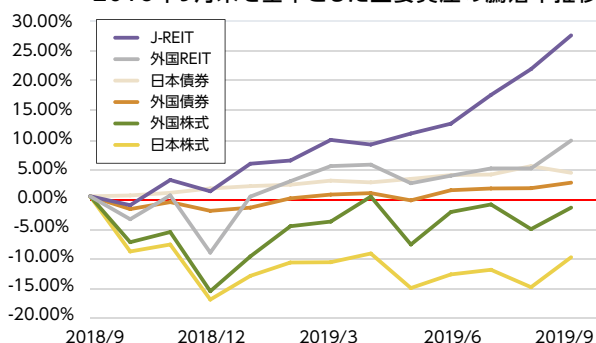
直近1年	初回入金来
-0.08%	1.01%

9月末の運用状況を見ると、直近1年の平均利回りはマイナスで、初回入金来の数値も昨年より下がっています。

保有比率は、企業型では昨年から大きな変化は見られませんが、個人型では資産分散型投資信託が約5%増え、未指図資産が5.5%になっています。個人型加入者の方の未指図のままの資産は3ヵ月半後にターゲットイヤーファンド※に変わるため、資産分散型の比率は今後も増加していくと思われます。

※りそな銀行 確定拠出年金 個人型プランの場合は定期預金

2018年9月末を基準とした主要資産の騰落率推移



運用の基本は長期・分散

昨年9月末を基準とした、1年間の主要資産の騰落率をグラフで確認してみると、元本確保型以外の保有資産の中で大きな割合を占める株式が、年間を通して大きく下がったままだったことが分かります。これが直近1年の平均利回りがマイナスになった要因です。1年間の平均利回りはマイナスでしたが、初回入金来では1%台のプラスになっています。短期で見ればマイナスでも、長期になればリターンが平準化されているためです。これからも、短期の動きに一喜一憂することなく、長期・分散で資産を安定的に増やすことを目指しましょう。

確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



ご自身の利回りや
運用状況をみんなと
比べてみよう！

パスワードをお忘れの方はこちらからお手続きできます。
お取引状況のお知らせ右上に記載の口座番号が必要です。

2019年11月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター

☎ 0120-401-987+「2#」

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

りそな銀行 ホームページ

<https://www.resonabank.co.jp/>

本レターの無断引用・転載はお断りします。